

## 支援学校高等部 国語

### 解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問①、教科等に関する大問②～大問⑤の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問①～大問③については、マーク式解答用紙に、大問④、⑤については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問①～大問③の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は①」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号①の欄に並んでいる①②③④⑤の中の③を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、通知文の名称等や、文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

1 特別支援教育に関する近年の動向等について、次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 次の各文は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示)「第1章 総則 第3節 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項 (2) 授業時数等の取扱い」の記述の一部である。正しい内容のみをすべて挙げている組合わせはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は  1

ア 各教科等(中学部においては、特別活動を除く。)や学習活動の特質に応じ効果的な場合であっても、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間は学校休業日に位置づけられているため、これらの授業を行うことはできない。

イ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

ウ 特別活動の授業のうち、小学部の児童会活動、クラブ活動及び学校行事並びに中学部の生徒会活動及び学校行事については、それらの内容に応じ、年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てるものとする。

エ 小学部又は中学部の各学年の自立活動の時間に充てる標準授業時数は、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を考慮したうえで、上限35時間までの範囲内であれば定めることができる。

- 1 アーイ
- 2 アーウ
- 3 イーエ
- 4 アーエ
- 5 イーウ

(2) 次の文は、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)(平成30年3月 文部科学省)「第6節 学校運営上の留意事項 3 特別支援教育に関するセンターとしての役割」の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は [ 2 ]

特別支援教育に関するセンター的機能に関しては、平成17年12月の中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」において、①小・中学校等の教師への支援機能、②特別支援教育等に関する [ ア ] 機能、③障害のある幼児児童生徒への [ イ ] 機能、④医療、福祉、労働等の関係機関等との連絡・調整機能、⑤小・中学校等の教師に対する研修協力機能、⑥障害のある幼児児童生徒への施設・設備等の提供機能の6点にわたって示している。

また、中央教育審議会答申においては、特別支援学校における特別支援教育 [ ウ ] は、校内における取組だけでなく、例えば、小学校や中学校等に在籍する児童生徒に対する [ エ ] 指導を行ったり、特別支援学校の教師の専門性を活用しながら教育相談を行ったりするなど、域内の教育資源の組合わせ(スクールクラスター)の中で、 [ オ ] としての機能を発揮していくことが求められるとしている。

- |   | ア       | イ       | ウ        | エ     |
|---|---------|---------|----------|-------|
| 1 | 相談・情報提供 | 指導・支援   | 支援員      | 直接的な  |
| 2 | 相談・情報提供 | 指導・支援   | コーディネーター | 巡回による |
| 3 | 指導・支援   | 相談・情報提供 | コーディネーター | 直接的な  |
| 4 | 指導・支援   | 相談・情報提供 | 支援員      | 巡回による |
| 5 | 相談・情報提供 | 指導・支援   | コーディネーター | 直接的な  |

(3) 次の各文は、「障害者差別解消法【合理的配慮の提供等事例集】」(令和5年4月 内閣府障害者施策担当)における「1. 合理的配慮の提供事例」及び「2. 環境の整備事例」の記述の一部である。教育場面における合理的配慮の提供事例の内容のみをすべて挙げている組み合わせはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ア 視覚障害があり、後で復習するときに使いたないので、授業を録音させてほしいという生徒に対して、授業の録音は禁止されているが、障害の状況等を踏まえ、録音機器の使用を認めることとした。

イ 聴覚障害があり、ゼミ形式の授業で活発な議論が交わされたときに、議論のやり取りのフロアをしてほしいという生徒に対して、筆談などにより議論のやり取りを素早く伝えるのは困難であったことから、手話通訳者と派遣契約をし、授業の補助員として配置した。

ウ 下肢に不自由さがあり歩行に困難がある。また、長距離の移動では、疲れやすいため、学内の教室移動において、配慮してほしいという生徒に対して、本人と相談のうえ、教室がある建物の玄関付近にフラットなベンチチェアを複数設置し、休憩してから教室へ移動することができるようにした。

エ 知的障害があり、学習活動の内容や流れを理解することが難しく、何をやるのか、いつ終わるのかを明確に示されていないと、不安定になってしまい、学習活動への参加が難しくなる生徒に対して、本人の理解度に合わせて、実物や写真、シンボルや絵などで活動予定を示した。

オ 精神障害があり、講義に集中することが難しい生徒に対して、生徒の希望と症状の診断結果を考慮して、一部の講義にチューターを付けて支援できることとした。

- 1 イーエーオ
- 2 アーエ
- 3 アーウーエ
- 4 イーオ
- 5 アーイーエーオ



(5) 次の文は、「教育の情報化に関する手引（追補版）」（令和2年6月 文部科学省）における「第4章 教科等の指導におけるICTの活用 第4節 特別支援教育におけるICTの活用」の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1. 特別支援教育におけるICTを活用した教育の充実  
(2) 特別支援学校における情報教育の配慮点

特別支援学校では、各教科及び高等部に設けられた教科「情報」（知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、知的障害者である児童生徒のための各教科及び高等部において、必要に応じて設けることができる）とされている「情報」を要として情報教育を展開していくことになるが、障害による 、本来の学習内容に集中できる を整えるとともに、個々の児童生徒に応じた具体的な支援を考える必要がある。また、学習を進めるに当たって、個々の障害の状態や特性や 等を考慮して、適切な 、指導上の工夫が必要である。

- |   | ア            | イ  | ウ    | エ       |
|---|--------------|----|------|---------|
| 1 | 操作上の困難を補い    | 媒体 | 社会経験 | 補助用具の選択 |
| 2 | 操作上の困難を補い    | 環境 | 社会経験 | 補助用具の選択 |
| 3 | 心理的な不安定さを軽減し | 媒体 | 学習状況 | 使用頻度の設定 |
| 4 | 心理的な不安定さを軽減し | 媒体 | 学習状況 | 補助用具の選択 |
| 5 | 操作上の困難を補い    | 環境 | 社会経験 | 使用頻度の設定 |

(6) 次の各文は、「障害者基本計画(第5次)」(令和5年3月 内閣府)において示されている、

(4) 生涯を通じて多様な学習活動の充実の記述の一部である。内容として、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 放送大学において、テレビ授業への字幕の付与や点字試験問題の作成など、障害のある学生への学習支援を一層充実する。
- 2 障害の有無にかかわらず、全てのこどもたちの成長を地域全体で支える社会が実現できるよう、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、こどもたちの多様な学習・体験活動を充実する。
- 3 学校卒業後の障害者が社会で自立して生きるために必要となる力を生涯にわたリ維持・開発・伸長するためには、障害者の各ライフステージにおける学びを支援するよりも、義務教育における学びを支援する必要がある。
- 4 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(令和元年法律第49号)及び「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」(令和2年7月策定)等を踏まえ、公共図書館、学校図書館、国立国会図書館、視覚障害者情報提供施設等が連携を図りながら、障害者の読書環境の整備を促進するとともに、図書館サービス人材等の育成を図る。
- 5 障害者が生涯にわたリ教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しむことができるよう、訪問支援を含む多様な学習活動を行う学びの場やその機会を提供・充実する。

(7) 医療的ケアの実施要件として、「大阪府立支援学校における医療的ケアの実施についてのガイドライン」(令和2年10月(令和5年3月 第二次改訂) 大阪府教育委員会)に照らし、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 主治医の指示があること。
- 2 学校医及び校長・准校長が、医療的ケアを適切に実施できる環境について、整備されていると判断していること。
- 3 養護教諭または養護助教諭の管理下であること。
- 4 保護者の同意があること。
- 5 保護者の依頼が前提にあること。

(8) 次の各文は、「改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引 ●解説とQ&A●」(文部科学省 編著)の記述の一部である。通級による指導の内容として、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

ア 他校通級の形態の一つとして、特別支援学校小学部・中学部・高等部に、通級指導教室を設置することはできない。

イ 他校通級をする場合、通学に要する時間は通級による指導の時間として含むことはできない。

ウ 「通級による指導」とは、大部分の授業を小・中・高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を特別な場(通級指導教室)で受ける指導形態で、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行う。

エ 通級による指導の対象とすることが適当な児童生徒の判断については、当該児童生徒について特別の教育課程を編成するかどうかの判断であることから、基本的に教育委員会が行う。

	ア	イ	ウ	エ
1	×	○	×	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	○	○	○	×
5	×	×	×	○

(9) 次の文は、「第2次大阪府教育振興基本計画」(令和5年3月 大阪府)における第5章 基本方針(施策の大綱)の記述の一部である。空欄ア～エに当てはまる語句の組合わせとして、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

基本方針6 学びを支える環境整備

重点取組⑳ | 施設等の計画的な整備の推進

▶ 在籍者数の増加にあわせた支援学校等の環境整備

支援学校在籍者数の増加による教室不足の解消と、国が定める「

」に沿うようにするため、将来にわたる

を踏まえ、子どもたちの障がいの状況に応じた、支援学校の新設や既存の学校での増築等を計画的に実施するとともに、適切な環境整備を図ります。また、

が必要な子どもたちの学習機会を保障するため、通学に係る支援や、学校への

の配置等の体制整備を進めます。

ア

イ

ウ

エ

- |   |              |          |       |              |
|---|--------------|----------|-------|--------------|
| 1 | 特別支援学校設置基準   | 公教育の役割   | 合理的配慮 | 専門人材         |
| 2 | 特別支援学校施設整備指針 | 在籍者数の推計等 | 合理的配慮 | 専門人材         |
| 3 | 特別支援学校施設整備指針 | 公教育の役割   | 医療的ケア | スクールサポートスタッフ |
| 4 | 特別支援学校設置基準   | 在籍者数の推計等 | 医療的ケア | 専門人材         |
| 5 | 特別支援学校設置基準   | 在籍者数の推計等 | 医療的ケア | スクールサポートスタッフ |

(10) 次の各文は、「みつめよう一人ひとりを」(平成31年1月改訂 大阪府教育センター)に照らし、「第2章 障がいの特性理解と指導・支援の在り方 3 知的障がいのある子どもの教育 (2) 指導・支援のポイント」の記述の一部である。内容として、適切でないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 子どもの行動を理解するには、その行動が起こる因果関係や背景要因等を詳細に調べ、その内面を読み取ることが大切です。情緒不安定になる原因は、本人の内的要因から生じていることが多いため、注意深く観察することが必要です。また、不適切な行動をどうやめさせるかよりも、望ましい・新しい行動を増やしていくという視点をもつことも大切です。
- 2 子どもの良さと課題の両面を捉えて、個別の指導計画を作成します。この計画は、集団指導の中での配慮や個別的な指導も含み、一人ひとりの教育的ニーズに応じて作成します。
- 3 知的障がいのある子どもは、言語発達の遅れを伴うことがあります。学校園生活全体において、視覚情報を提示するなど、わかりやすい指示等を工夫することが大切です。また、表出言語だけに依存せず、身ぶりや手ぶりを使うなど、多様な手段でコミュニケーションする力を育てることが大切です。
- 4 可能な限り自分の意思で選択・決定し、行動できるようにすることは、自立に向けた重要な力になります。子どもが自己選択・決定できる場面設定や意思を表出する手段を配慮・支援していくことが大切です。具体的には子どもの特性に応じて、絵や写真カードで選択・意思表出できるように練習していくことが考えられます。
- 5 指導を効果的にするために、子どもが興味・関心を持つような教材・教具を活用することが大切です。又、子どもの実態に応じた適切な教材を作成することがより有効です。

2

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：近代デザインの美学

高安啓介著 みすず書房

240ページ11行目から244ページ14行目まで

(高安啓介『近代デザインの美学』より)

(1) 〓部A、B、Cのカタカナを漢字になおすとき、同じ漢字を含むものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、Aは 、Bは 、Cは

A ソクシン

- 1 ソクザに返答する。
- 2 天体をカンソクする。
- 3 納入をサイソクする。
- 4 説明をホソクする。
- 5 ヘイソク感が漂う。

B モホウ

- 1 水草がハンモする。
- 2 唐草モヨウの布。
- 3 ウンモを顔料に使う。
- 4 海のモクズとなる。
- 5 モハヤ手に負えない。

C ドウサツ

- 1 セイドウ器を鑄造する。
- 2 イチドウに会する。
- 3 審判がタイドウする。
- 4 幹がクウドウになる。
- 5 心臓のコドウが速くなる。

(2) 〓部①について説明したものとして、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 学問としての美学は、とくに芸術の哲学として発展することで感性論を成立させた点。
- 2 学問としての美学は、美という用語をどう理解したらよいかの議論だったといえる点。
- 3 学問としての美学は、現代においては意識の問題にかかわるものと理解され始めた点。
- 4 学問としての美学は、芸術について論じるための用語にかかわるといふ側面がある点。
- 5 学問としての美学は、実際においては芸術を論じるための用語をつくる議論である点。

(3) — 部②について本文中で述べられている内容として最も適切なものはどれか。1〜5から1つ選べ。解答番号は

- 1 芸術各分野において使われる用語が、日常生活のうちに使われているという食い違いが生じていないかを反省することが芸術の知となる。
- 2 芸術系の教育機関の名称や、教育分野や教育科目の名称は、時代特有の考えを教育方法にどう反映しているかを知る重要な手がかりとなる。
- 3 芸術系の諸分野において自明視されやすい用語は、哲学の成果をよりどころにすることで現代では何をあらわすのかを説明することができる。
- 4 鍵となる用語どうしの対応関係にある食い違いに注目することで、日本における近代主義がいかに定着してきたのかを知ることができる。
- 5 各時代に好んで用いられた用語や分野と分野をまたがって流通する用語などについて論じること、当事者どうしの相互理解がうながされる。

(4) — 部③について本文中で述べられている内容として最も適切なものはどれか。1〜5から1つ選べ。解答番号は

- 1 形象自体が平面もしくは空間において作り出された現れであるかぎり、形式のみをそなえた現れとして、そのうちに一種の交通をはらんでいることが前提とされてきた。
- 2 形象自体がそのうちに一種の交通をはらんでいることが前提となつて、部分と部分との相互作用や相互関係のなかで、芸術における伝達の主体は誰なのかを明らかにすることができる。
- 3 形象自体の内容や意味として読み取られるものは、芸術家や社会、作品の形象自体が伝達したものと同様、送り手が意図した、作品の形象のうちの生きて語りかけるような人格である。
- 4 形象自体は、たんに伝達の媒体であるだけでなく、伝達の主体でもあるので、背後の社会とより密接に通じている、芸術家の意図した内容が伝達内容として最も重要になる。
- 5 作品とみなされない形象についても、現代の美学では部分と部分との相互関係のなかから送り手の無意識をつきとめて、送り手の意図を超えた意味をさぐろうとする深読みが進められる。

- (5) 空欄④に入る文の順番として最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は 17

- ア しかしむしろ、特殊な伝達のありかたについて考えるほうが、伝達についての理解を深めていくのに有意義にちがいない。
- イ したがって、芸術について説明するときに伝達の働きを持ち出すのがよいのかが問われるだろう。
- ウ そうしたとき、芸術における伝達は、作品の形象をとおした伝達であるかぎり、たしかに、情報通信のような伝達とは異なる。
- エ すなわち、形象がいかなる関係をはらんでいるかを明らかにすることで、形象がいかなる伝達をおこなうかを明らかにする。

- 1 エ ↓ ウ ↓ イ ↓ ア  
2 イ ↓ エ ↓ ウ ↓ ア  
3 ウ ↓ イ ↓ ア ↓ エ  
4 エ ↓ ウ ↓ ア ↓ イ  
5 イ ↓ エ ↓ ア ↓ ウ

- (6) 本文の特徴について説明したものとして最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は 18

- 1 現代の美学について、各時代におけるキーワードを時系列に沿って具体的に例示することで、筆者の主張や説明に対する実感を持たせている。
- 2 現代の美学について、部分と全体、意図と無意識、美学と哲学等の相反する要素を比較することで筆者の主張をわかりやすく伝えている。
- 3 現代の美学について、筆者の主張の大枠を冒頭の段落で示した後、そこで示された二つの要点について複数の例を挙げながら詳しく説明している。
- 4 現代の美学について、筆者の主張と反対の意見も取り上げながら、その意見への対応策について説明することで説得力を持たせている。
- 5 現代の美学について、筆者の主張を最後まで明確に示さないことで、芸術における伝達の主体が曖昧であるということを印象づけている。

次の文章は、平安時代の物語『狭衣物語』の一部である。五月雨の夜、貴族たちが帝のもとで管弦の独奏を競演するなか、中将の君（狭衣）はひとり、笛に触ろうともしない。不審に思った帝の強い求めに応じ、気が進まない様子で中将の君が笛を吹くと、その音は不吉なほどに澄み切った音色で美しく響き渡り、帝や東宮をはじめとする宮中すべての人は、心を打たれた。本文はその続きの場面である。これを読んで、あとの(1)～(7)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：新編日本古典文学全集 29 狭衣物語①

小学館

43ページ行目から47ページ2行目まで

〔注〕

雲のはたて | 雲の果て。

天稚御子 | ここでは、月の都の御子。

角髪 | 元服前の少年の髪<sup>の</sup>結い方。髪を頭の中央から左右に分けて、そ

れぞれ両耳のあたりで束ねる。

糸遊 | かげろう。転じて、薄く透明な天の羽衣をさす。

十善の君 | 帝。

大臣もさらに承けひかじ

| 「父大臣も決して承諾するまい」の意。

天竺 | ここでは、この世とかけ離れた別世界をさす。

(1) Ⅱ部A～Eについて、本文中でのそれぞれの文法的説明のうち、誤っているものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 Aは主格の格助詞。
- 2 Bは断定の助動詞「なり」の連用形に係助詞が接続した形。
- 3 Cは尊敬の助動詞「す」の連用形。
- 4 Dは謙譲の補助動詞「たまふ」の連体形。
- 5 Eはワ行上一段活用動詞「降りゐる」の連用形。

(2) 本文中の和歌X、Yについて、次の説明のうち最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 Xには「稻妻の光のような帝のご威光に照らされた私は天に昇れない。天人たちよ、雲のかけ橋をかけて地上に降りてきてほしい」という中将の君の願いが、Yには「殿上に昇った私たちは、帝の威光に心打たれたため、もはや空を故郷となつかしむことはないだろう」という天稚御子の思いが詠まれている。
- 2 Xには「笛の音は天まで昇り稲妻の光にも届くだろう。天上の世界でははるか遠くまで雲の架け橋が渡されているのだ」という中将の君の思いが、Yには「おまえの思いが雲の上まで届いたので、私は空を見るごとに、笛の音とともに今夜の出来事を思い出そう」という帝の思いが詠まれている。
- 3 Xには「稲妻の光とともに私は天にまで昇って行こう。大空のはるか彼方まで渡しなさい、雲の掛け橋を」という中将の君の思いが、Yには「私が雲の上の天まで昇ってしまったら、帝はこの空を見て私を思ってくださるだろうか、いや、ぜひともそうあってほしい」という中将の君の願いが詠まれている。
- 4 Xには「稲妻の光が天をくまなく照らすように、帝のご威光よ、笛の音とともに雲の架け橋を渡り、人々のもとに行きわたれ」という中将の君の願いが、Yには「笛の音が雲の上まで響き渡っているので、私は天にある空を見るごとに今夜の体験を思い出すのだろうか」という中将の君の思いが詠まれている。
- 5 Xには「稲妻の光とともに私も月に行くとしたら、その道が月まではるかかな雲の橋になつてほしい」という中将の君の願いが、Yには「おまえが雲の上の世界に昇ってしまったら、これからは空をおまえの名残だと思って見ることになるのか、いや、そうはさせない」という帝の思いが詠まれている。

(3) — 部①について、帝がこのように思った理由として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 中將の君が、地上との別れを惜しみながらも天稚御子にうながされて立ち去ろうとしたため、無理に笛を吹かせてこのような事態を招いた自分の行いを省みたから。
- 2 自分の威光をたたえながらも、あっさりとして現世への思いを捨てて御子とともに立ち去ろうとする中將の君の変わり身の早さに驚き、腹立たしく思ったから。
- 3 自分が笛を吹かせたことで起こった怪異を天上の音楽によって鎮め、その代償として中將の君を連れ去ろうとする天稚御子の力に、無力さを感じたから。
- 4 中將の君が、御子とともに立ち去ってしまったため、このような形で息子と離れ離れになってしまった父大臣に対して合わせる顔がないと思ったから。
- 5 羽衣を着せられた中將の君が立ち去ったあとにひとり残されたことで、中將の君を天上へ連れ去ってしまった御子に対して強い憤りを覚えたから。

(4) 空欄Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに当てはまる語の組み合わせとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- |   |      |      |      |
|---|------|------|------|
| 1 | Ⅰ さへ | Ⅱ のみ | Ⅲ だに |
| 2 | Ⅰ のみ | Ⅱ さへ | Ⅲ だに |
| 3 | Ⅰ だに | Ⅱ さへ | Ⅲ のみ |
| 4 | Ⅰ さへ | Ⅱ だに | Ⅲ のみ |
| 5 | Ⅰ だに | Ⅱ のみ | Ⅲ さへ |

(5) — 部②、③、⑤について、本文中における意味として最も適切なものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、②は 、③は 、⑤は

- ②
- |   |                   |   |             |
|---|-------------------|---|-------------|
| 1 | みじめな思いでご覧になった     | 2 | おそれ多くご覧になった |
| 3 | 目の覚めるような思いでご覧になった | 4 | 苦々しくご覧になった  |
| 5 | 驚きあきれてご覧になった      |   |             |

- ③
- |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|
| 1 | 文章の体裁 | 2 | 和歌の意匠 |
| 3 | 漢詩の情意 | 4 | 声の美しさ |
| 5 | 手紙の内容 |   |       |

- ⑤
- 1 この上なく心にかけて大切に世話し申し上げなさって
  - 2 すべての願いを聞き届け申し上げて
  - 3 誰よりも丁寧に養育しあそばして
  - 4 いつもお褒めの言葉をかけあそばし申し上げて
  - 5 絶え間なく思い続けいつくしみ申し上げあそばして

(6) — 部④とあるが、このことを具体的に説明したものととして最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。解答番号は

- 1 天稚御子とのやりとりで心を奪われている様子から、帝は、中将の君がいつそう笛を吹くことへの関心を失うのではないかと気をもんでいるということ。
- 2 天稚御子が去ってからもお空を見て物思いにふけている様子から、帝は、中将の君がますます人間世界への未練をなくしてしまうと危惧したということ。
- 3 天稚御子の面影を求めて空を眺めてばかりいる様子から、帝は、中将の君の心に早くも天上へのあこがれが芽生えてしまったのだと確信したということ。
- 4 美しい天上の音楽を聴いた日から数日が経ってなお名残惜しそうにしている様子から、帝は、中将の君はもう二度と笛を吹かないだろうと悟ったということ。
- 5 管弦の夜を忘れられぬまま夜を明かした様子から、帝は、中将の君が立身出世や結婚のよくな世俗的な営みに興味をなくしたのではないかと不安がったということ。

(7) 本文の内容に合致しないものはどれか。1〜5から一つ選べ。解答番号は

- 1 中将の君が音の続く限り吹いた笛の音色は、月の都の人の心を動かさずにはいられないようになすばらしいものだった。
- 2 天稚御子が薄い衣を中将の君にちよっと着せかけると、中将の君はこの世のことも忘れ、天稚御子のすばらしい姿にひどく心ひかれた。
- 3 天稚御子は、帝が中将の君との別れを泣いて惜しんだため、中将の君を天上にむりやり連れて行くことができなくなってしまった。
- 4 天稚御子との別れを惜しむ中将の君の声や姿のすばらしさに、この夜以降、世の人々は、中将の君を天人だと噂するようになった。
- 5 帝は、自身の二の宮の魅力で中将の君の心を紛らし、中将の君が別世界にさまよい出てしまふのをとどめられるのではないかと考えた。

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：説苑

劉向著 講談社

97ページ3行目から99ページの終わりまで

〔注〕

- |         |  |                          |
|---------|--|--------------------------|
| 子路      |  | 孔子の弟子、姓は仲、名は由。           |
| 蒲       |  | 地名。今の河北省長垣県。             |
| 溝瀆      |  | 水路。                      |
| 一簞食・一壺漿 |  | 一杯の飯と一杯の飲み物で、ささやかな食事をいう。 |
| 子貢      |  | 孔子の弟子、姓は端木、名は賜。          |

（『説苑』より）

(1) — 部①、②、⑥について、本文中における読みをひらがなでそれぞれ答えよ。

(2) — 部③、⑤の書き下し文として、それぞれ最も適切なものはどれか。ア～オから一つずつ選べ。

③

ア 子貢を使ひ復た之くつがへく

イ 子貢を使ひ之を復す

ウ 子貢をして復た之ゆかしま

エ 子貢をして之を復くつがへさしむ

オ 子貢に復た之を使ふ

⑤

ア 由や暴雨を以て将至り、水災有るを恐れ

イ 由や暴雨を以て将至り、恐らくは水災有り

ウ 由や暴雨を以て将に至るべく、水災有るを恐れ

エ 由や暴雨の将に至りて、水災有るを恐るるを以て

オ 由や暴雨の将に至らんとし、恐らくは水災有るを以て

(3) — 部④、⑨は、それぞれ誰のことか。ア～オから一つずつ選べ。

ア 子路      イ 民      ウ 孔子      エ 子貢      オ 君

(4) — 部⑦を、「之」の指す内容を具体的に明らかにしながら、現代語訳せよ。

(5) — 部⑧の理由として最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。

ア 子路の、災害に対する心構えが不十分であったため。

イ 子路の、苦境に対する支援が少なすぎたため。

ウ 孔子の、子貢に対する指導に不満があったため。

エ 孔子の、仁に対する姿勢に矛盾を感じたため。

オ 子貢の、自身に対する発言に同意できなかったため。

(6) — 部⑩とあるが、誰の、どのような行為が、なぜ「罪」になるのか。本文に即して、四十五字以上五十五字以内で説明せよ。

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：芥川龍之介の世界

中村真一郎著 岩波書店

44ページ13行目から48ページ5行目まで

(中村真一郎『芥川龍之介の世界』より)

(1) 〓部A、Cのカタカナを漢字になおせ。

(2) 次の作品のうち、――部①、②それぞれの作品はどれか。ア、コから二つずつ選べ。

ア	金閣寺	イ	藪の中	ウ	古都	エ	細雪	オ	砂の女
カ	壁	キ	潮騒	ク	風媒花	ケ	刺青	コ	地獄変

(3) 〓部③について説明したものととして、最も適切なものはどれか。ア、オから一つ選べ。

ア 構成や文体の完成とともに多様性を志向し、自身の資質の必然性から作り上げた型を崩しつつ前衛的に挑戦を続ける仕事。

イ 作者自身の精神状態が切迫するにつれて技術的配慮が強く作用する、芸術的成功と人生的感銘の矛盾を読者に感じさせる仕事。

ウ 芸術的完成を追求しながらも自身が携わるジャンルのあらゆる可能性を探り、たえず新しい形式の試みを進めて行く仕事。

エ 個々の作品に読み物としての魅力と芸術的な余裕を内包させた、モザイク細工のような短篇集を次々と組み上げる仕事。

オ 同時代の作家たちが目指した破壊的作業とは無縁に、ひたすら異なった素材と背景と構成と文体とを生み出し続ける仕事。

(4) 空欄④に入る言葉として最も適切なものはどれか。ア、オから一つ選べ。

ア 作品の中における芸術性と技巧性を共存させるべきだという、作者の思想が間接的に表現された物語

イ 作者の主観的な意見を含まず、読者を作品自体の物語内容から客観的な真理へ到達させるような主題

ウ 作者から独立した作中人物の思想や気分を効果的に表すため、完成された文体へ収束させていく手法

エ 作者が現実を客観的に観察するというだけにとどまらず、その作品を作者から切り離す、という仕方

オ 作者や作中の人物たちの主観を排し、ただ客観的な世界のみを芸術的に切り取ってくる、という方法

(5) 〓部⑤とあるが、どのようなことか。本文中の言葉を用いて、五十字以上六十字以内で説明せよ。

